



みらい京田辺
まちづくり積極
的に切れ目なく

市長選挙のため骨格予算となったが人口の増えているまち、子育てのしやすいまち、山城地域で核となるまちを目指す本市にとってこれらの関連予算が積極的に計上されている事を評価する。市の骨格となる第4次総合計画

一新会
骨太の骨格
予算を評価する

平成31年度予算は骨格予算となるが、継続的の事業や子育て支援などの緊急性の高い事業予算を計上し、第3次総合計画の後期計画となるまちづくりプランの達成に向け骨太の予算編成となったことを評価する。

文化施設を核とした複合型公共施設の整備に向けた調査、待機児童ゼロ対策の推進、水辺の散策路の整備などの事業において、創意工夫をこらした的確な予算執行に期待する。本市には新名神の全線開通や北陸新幹線新駅設置など未来に向けた大きな発展要素があり、これまでのまちづくりプランの成果も合わせ、持続可能な財政構造の構築に向けた取り組みにも一層の努力を期待する。

公明党
中学校完全給食
の早期実現を

本予算には、公明党が要望してきた証明書コンビニ交付事業・妊産婦健診助成事業・地域子育て支援センター開設事業など、新規事業が盛り込まれている事を高く評価する。

市民の命と財産を守るため防災リーダーを

育て、すべての区・自治会で自主防災組織設立の実現を。

待機児童対策のため保育士不足の解消を。公立幼稚園存続のために通園バス・給食などの導入をすべき。

本市の将来を担う若者育成のため、不登校児童・生徒の対策をしっかりと考え、通学路の整備にゾーン30の導入、防犯灯・防犯カメラ増設の検討を。

中学校完全給食の早期実現をすべき。

日本共産党 京田辺市議会議員団
暮らしを守る「防波堤」の役割を

政府同様に景気は「緩やかな回復が続く」とするが、経済統計調査の不正で政府の経済認識の誤りが明らかになった。消費税10%増税では、上下水道料金だけで年間2900万円以上の負担増。市民の暮らしを守るために

国保税引下げの独自の財政努力をはじめ、市民に最も身近な京田辺市政が、国の悪政から市民の暮らしを守る「防波堤」としての役割を果たすべき。中学校給食で多くの保護者の願いは、小学校給食と同様に、安全で温かくておいしい給食。それには自校調理方式が一番良い。センター調理方式ではなく、中学生の事を第一に考えた中学校給食実施方式の議論を行うべき。

議会インターネット中継 マルチデバイス対応

タブレットPCやスマートフォンでも議会中継が視聴できるようになりました。ぜひ、ご覧ください。

用語の解説

専門職大学 (5面3・8段目)
職業教育に特化した大学。実践力・創造力を備えた人材の育成を目的とし、卒業に必要な単位の3〜4割以上を実習科目が占め、企業での実習が義務付けられる。平成31年度から設置が認められた。

液体ミルク (3面4段目)
正式な名称は乳児用液体ミルク。成分は乳児用の粉ミルクと同等で、あらかじめ液体なので湯などで溶かす必要がない。封を切ればそのまま飲めるため外出時に便利で、災害時などにも効果を発揮する。海外では広く普及している。

セクシャルマイノリティ (3面5段目)
性的少数者ともいい、同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のこと。異性を愛する人が普通だ」として認める人からみて少数者という意味。昨今、一般社会の偏見や差別が社会問題。